



請願書第 3 号

5.6.05

付

栗東市議会議長

様

令和 5 年 6 月 5 日

請願者

住所 栗東市中沢 3-14-17
氏名 新日本婦人の会栗東支部支部長 藤岡康



紹介議員

田村隆光 (印)
生木千尋 (印)
櫻井浩司 (印)

中学卒業までの医療費の早期無料化を求める請願書

請願の要旨

子どもの医療費助成を入院、外来通院とも中学卒業まで負担なしで拡充することを早急に実現してください。

請願の理由

必要なときに安心して医療機関を受診できることは、子どもたちの心身の健やかな成長のために必要不可欠です。私たち新日本婦人の会は 1993 年から、全国で統一の要求として「国で乳幼児の医療費の無料化」の運動を続けています。2019 年には栗東の医療をよくする会として『中学 3 年生まで医療費の無料化を求める請願書』を 5250 筆の署名とともに提出しました。

また、現市長は子ども医療費助成拡大(中学卒業まで無償化)を公約に掲げられています。県下では住民の世論と運動で、子どもの医療費助成の拡充が広がっています。滋賀県では 2023 年 10 月診療分より、小学校卒業まで無料になる予定です。県下 19 市町のほとんどで、中学校卒業までの無料化を実施しています。守山市でも 2023 年 10 月から実施される予定です。さらに米原市(10 月から)・近江八幡市・甲良町・豊郷町では高校卒業まで窓口負担なしの無料となっています。

コロナ禍で子育て世代の経済的困難が広がる中、県内どこに住んでいても命と健康に差をつけず、子どもの健康を守る仕組みがあることは、保護者の不安を取り除くことにつながります。同時に、なによりも実のある子育て支援となります。安心して子育てができる栗東市とするためにも、ぜひ、早急に上記要望を実現してください。